

# 保健体育科（体育）学習指導案

学校名 鹿児島県立鶴丸高等学校  
実施日時 令和7年11月21日（金）6校時  
実施学級 1年5・6組（男子14人，女子25人）  
実施場所 鶴丸高等学校 体育館  
指導者 教諭 佐伯章

## 1 単元名 「球技」（ゴール型：バスケットボール）

## 2 単元について

### (1) 単元観

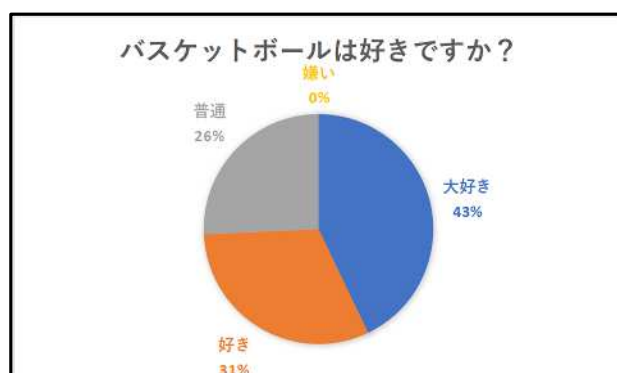
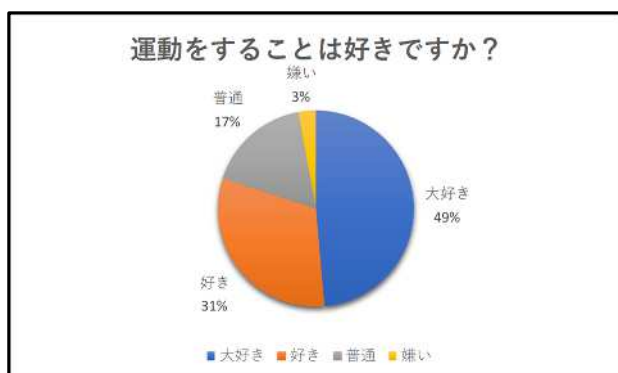
球技は，ゴール型，ネット型及びベースボール型などから構成され，個人やチームの能力に応じた作戦を立て，集団対集団，個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。特にゴール型であるバスケットボールでは，勝敗を競う楽しさや喜びを味わいつつ，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することを楽しさがある。

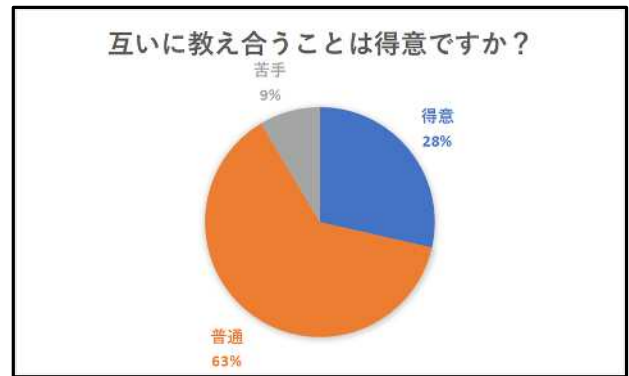
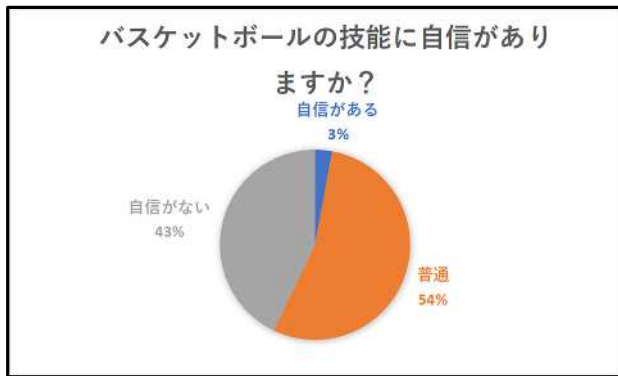
バスケットボールは，攻守が頻繁に入れ替わる特性を持つため，個人の技能だけでなく，状況を判断して瞬時に行動を選択する力や，チーム全体での連携，コミュニケーション能力が求められる。また，競技の特性上，個々の役割が明確であり，様々なポジションや戦術に応じて多様な関わり方が可能であることから，生徒の運動経験の差に応じた参加の仕方が求められる。

### (2) 生徒観

1年次バスケットボール選択者（男子14名，女子25名）は，事前アンケートにおいて運動をすることは好きという生徒が8割，バスケットボールは好きという生徒は7割以上を占めており，学習意欲は高い。また，互いに教え合うことは得意という生徒が3割程度おり，探究心旺盛である。一方でバスケットボールの技能には自信がないという生徒が半数程度いる集団である。シュートやドリブルなどの基本技能を学びつつ，チームの戦術なども学びたい，チームワークを深めたいという意見も多かった。

## 【アンケート結果】





### (3) 指導観

ゲームやシュート練習を単純にすることよりも、バスケットボールの基本技術向上と戦術を理解したいという生徒のモチベーションや特徴を軸に、授業を計画する。毎時間授業の始まりにボールに慣れ親しむために、自分の技能に応じたボールハンドリングを選んで取り組むようにする。また、タブレットを用いて模範動画の視聴や自己観察、他者観察をし、意見交換する場の設定をする。さらにタブレットを用いてグループの動きを撮影し、チームの課題や戦術について考察する場の設定をする。

## 3 単元の目標

- (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。  
ア ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができるようにする。【知識及び技能】
- (2) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。  
【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。  
【学びに向かう力、人間性等】

#### 4 単元の評価規準

知識	技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>④練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</p>	<p>①ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。</p> <p>②味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p> <p>⑤パスを出した後、次のパスを受ける動きをすることができる。</p> <p>⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。</p>	<p>①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>⑤ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。</p> <p>⑦作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</p> <p>⑧体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p>	<p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>⑤互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>⑥健康・安全を確保している。</p>

【県総合体育センター指導資料より 別紙参照】

#### 5 指導と評価の計画

バスケットボールの指導と評価の計画 高等学校入学年次(1年)															
単元目標	(知・技)	次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。													
	(思・判・表)	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。													
	(主体的態度)	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなど、健康・安全を確保することができるようにする。													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
学習の流れ	マイプログラム(準備運動含む)														
	ボール操作							グループ練習							総括
	シュートフォーム	シュート(レイアップ)	パスの基本と受け方	オフェンスパターン	ディフェンスの基本	アウトナンバーの攻防	ゲームの進め方	リーグ戦							
	整理運動														
	知識				知識①									知識④	
技能			ゴール①		ゴール⑤	ゴール⑦		ゴール②							
思・判・表				思・判・表②			思・判・表①		思・判・表⑤		思・判・表⑦			思・判・表⑧	
態度	態度①									態度⑤			態度⑥		

6 本時

(1) 本時の指導目標

- A 攻撃において得点するための戦術，作戦には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて，理解することができる。(知識)
- B 動作分析の場面で，課題解決の過程を踏まえて仲間や自己の新たな課題を発見し，伝えることができる。(思考・判断・表現)

(2) 学習の展開 (4/15 時間)

	学習内容・活動	指導上の留意点・評価	配時
導入	<p>1 マイプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の授業内容の確認</li> <li>・本時の授業目標の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康観察を行う。</li> <li>・各自のプログラムに応じた運動をしているかを確認する。</li> </ul>	10分
	攻撃において得点するためには，どのような作戦があるだろう。		
展開	<p>2 ハンドリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボールの運動特性に応じたアップを行う。</li> </ul> <p>3 前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトナンバー時のパススキルや動きの確認をする。</li> </ul> <p>4 ハーフ 3on3①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イーブンナンバー時の攻撃パターンについて知る。</li> </ul> <p>5 チーム練習</p> <p>6 ハーフ 3on3②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを用いて撮影し，効果的な動きについて考察する。</li> <li>・作戦に応じた攻撃パターンを実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の課題に応じた運動をしているかを確認する。</li> <li>・前時までに行ったパスや空いている場所への動き方について理解しているか確認する。</li> <li>・イーブンナンバーになったときの空いている場所への動き方について話し合いがされているか確認する。</li> <li>・チームで得点するための代表的なパターンを提示する。(ロイロノートで配信)</li> <li>・画像から動きを分析し，効果的な作戦について話し合っているか確認する。</li> </ul>	30分
	【評価】B 思判表(観察)		
まとめ	<p>7 本時の振り返り・まとめ</p>		
	攻撃において得点するための作戦について理解できたか。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートを使用して本時の学習の振り返りをする。</li> </ul> <p>8 次時の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の成果を記入しているか確認する。</li> </ul>	10分
	【評価】A 知識(カード)		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の連絡と健康観察を行う。</li> </ul>	